

狸や、カワセミ等多くの生き物が見られ、豊かな生態系を保つ荒川の旧河川である古谷湿地の管理が、埼玉県から川越市に移管になったのが今年の4月。この場所の重要性は以前議場でも確認されていましたが、今回は改めて保全の方針を中心にいくつかの点について確認しました。

- (川口) Q1、 古谷湿地以外に「湿地」と名前の付いた場所は市内にあるか。
(担当部長) A1、 他に「湿地」と名前の付いたところは市内にはない。
- (川口) Q2、 古谷湿地は河川としての機能が重要と考えるが、今後をどう考えているのか。
(担当部長) A2、 県より譲与を受けた際、譲与契約書に水路敷きの用途以外の目的に使用してはならない旨が明記されていること、この湿地が大雨時の貯留機能等もあることから、今後とも現状を維持したいと考えている。
- (川口) Q3、 みどりの基本計画では古谷湿地の保全がうたわれているが、今後の考えは。
(担当部長) A3、 市内の重要な緑地の一つであり、多くの生き物の良好な生息の場となる水辺環境を形成していることから、今後ともその保全に取り組んでいく。
- (川口) Q4、 古谷湿地につながる河川へ放流している事業所・生活排水の状況把握は。
(担当部長) A4、 事業系については良好な排水状況を確認しており、生活排水については、今年度行なう浄化槽調査と合わせて行い、調査結果を基に、指導していきたい。
- (川口) Q5、 他の自治体でも見られる河川一斉清掃のようなイベントを企画してはどうか。
(担当部長) A5、 他市の状況を調査して検討したい。
- (川口) Q6、 環境教育の観点から古谷湿地を活用できないか。
(担当部長) A6、 夏休みに実施している「環境ふれあい教室」を検討し、実施していきたい。

今回取り上げた古谷湿地は川越市内で唯一「湿地」と表記している場所であり、多くの生き物が見られる場所です。私が子どもの頃は毎日のようにザリガニを捕ったり、雪の日にはソリをしたり、子どもにとって格好の遊び場でしたが、いつの間にか人が寄り付かない雰囲気になってしまったことが残念でなりませんでした。しかし、今回の一般質問で今後明るい光が射した気がしています。



「環境ふれあい教室」の実施も検討

平和市長会議に加盟

今年の6月議会で私が提案した川越市の「平和市長会議」への加盟が決まりました。議会閉会後の7月7日付けで申請をしていたものが、8月3日付けで認定を受けました。

平和市長会議は、世界の都市が緊密な連携を築くことによって、核兵器廃絶の市民意識を国際的な規模で喚起し、核兵器廃絶を実現させるとともに、人類の共存を脅かす飢餓、貧困、難民、人権などの諸問題の解決、さらには環境保護のために努力することによって世界恒久平和の実現に寄与することを目的としています。

この連携の和は凄い勢いで広がっており、現在134カ国、3100以上の都市が加盟しています。これを機に、川越市にはより積極的な行動を期待したいですね。

市のホームページがリニューアル

昨年私が9月議会の一般質問で市のホームページについて改善を促していましたが、このたび新しく生まれ変わりました。検索機能の強化を始め、各部署の情報も充実、レイアウトの変更により使いやすくなっています。

今後もさらに多くの方が使いやすいホームページになるよう提案は続けていきたいと思えます。お気付きの点やアイデアのある方はお知らせ下さいませ。